

令和2年度柴田町議会4月会議会議録（第1号）

出席議員（18名）

1番	森	裕樹	君	2番	加藤	滋	君
3番	安藤	義憲	君	4番	平間	幸弘	君
5番	桜場	政行	君	6番	吉田	和夫	君
7番	秋本	好則	君	8番	斎藤	義勝	君
9番	平間	奈緒美	君	10番	佐々木	裕子	君
11番	安部	俊三	君	12番	森	淑子	君
13番	広沢	真	君	14番	有賀	光子	君
15番	舟山	彰	君	16番	白内	恵美子	君
17番	水戸	義裕	君	18番	高橋	たい子	君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町長部局

町長	滝口	茂	君
副町長	水戸	敏見	君
会計管理者兼 会計課長	平間	清志	君
総務課長併 選挙管理委員会書記長	鈴木	俊昭	君
まちづくり政策課長	藤原	政志	君
財政課長	森	浩	君
税務課長	安彦	秀昭	君
町民環境課長	遠藤	稔	君
健康推進課長	佐藤	浩美	君
福祉課長	八矢	英二	君
子ども家庭課長	水戸	浩幸	君

農政課長 併 農業委員会事務局長	瀬戸 諭 君
商工観光課長	沖館 淳一 君
都市建設課長	水戸 英義 君
上下水道課長	曲竹 浩三 君
槻木事務所長	一条 敏貴 君
危機管理監	平間 信弘 君

教育委員会部局

教 育 長	船迫 邦則 君
教育総務課長	水上 祐治 君
生涯学習課長	池田 清勝 君
スポーツ振興課長	齋藤 良美 君

その他の部局

代表監査委員	大宮 正博 君
--------	---------

事務局職員出席者

議 会 事 務 局 長	大川原 真一
次 長	奥村 朝子
主 幹	太田 健博
主 査	佐山 亨

議 事 日 程 (第1号)

令和2年4月1日(水曜日) 午前9時30分 開 会

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期及び開催期間の決定
- 第 3 町政報告
- 第 4 議案第1号 令和2年度柴田町一般会計補正予算
- 第 5 議員派遣の件

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前9時30分 開 会

○議長（高橋たい子君） おはようございます。

ただいまの出席議員数は18名であります。定足数に達しておりますので、議会は成立いたしました。

これより令和2年度柴田町議会4月会議を開きます。

直ちに本日の会議を開きます。

なお、議案等の説明のため、地方自治法第121条の規定により、説明員として町長以下、関係所管課長等及び監査委員の出席を求めています。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付のとおりであります。

日程に入ります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（高橋たい子君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、議長において12番森淑子さん、13番広沢真君を指名いたします。

日程第2 会期及び開催期間の決定

○議長（高橋たい子君） 日程第2、会期及び開催期間の決定の件を議題といたします。

今年度の会期については、柴田町議会基本条例第4条及び柴田町議会会議規則第4条の規定により通年とし、本日4月1日から次の会期の前日である翌年3月31日までにしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋たい子君） 異議なしと認めます。よって、会期については本日4月1日から翌年3月31日までに決定いたしました。

また、4月会議の開催期間については議会運営委員会の協議の結果、本日1日と意見が一致いたしました。よって、4月会議の開催期間は本日1日とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋たい子君） 異議なしと認めます。よって、4月会議の開催期間は本日1日と決定いたしました。

なお、4月会議中、議場内における報道機関等の取材を許可しておりますので、ご了承願

ます。

次の日程に入る前に、令和2年度の執行部体制について紹介の申出がありましたので、これを許します。

それでは、副町長、お願いいたします。

○副町長（水戸敏見君） おはようございます。

令和2年度の執行部体制を紹介いたします。

新たに課長職になった者5名を含めて12名の異動がありました。18名全員を紹介したいと思います。

最初に、会計管理者、会計課長を兼ねます平間清志。（「平間です。よろしくをお願いいたします」の声あり）

総務課長、鈴木俊昭。（「よろしく申し上げます」の声あり）

危機管理監、総務課付になります平間信弘。（「よろしく申し上げます」の声あり）

まちづくり政策課長、藤原政志。（「よろしくをお願いいたします」の声あり）

新課長になります、町民環境課長、遠藤稔。（「よろしくをお願いいたします」の声あり）

同じく槻木事務所長、一条敏貴。（「よろしく申し上げます」の声あり）

税務課長、安彦秀昭。（「よろしく申し上げます」の声あり）

財政課長、森浩。（「よろしく申し上げます」の声あり）

右手になります、教育総務課長、水上祐治。（「よろしく申し上げます」の声あり）

生涯学習課長、池田清勝。（「よろしくをお願いいたします」の声あり）

スポーツ振興課長、齋藤良美。（「齋藤です。よろしくをお願いいたします」の声あり）

農政課長、瀬戸諭。（「よろしくをお願いいたします」の声あり）

商工観光課長、沖館淳一。（「沖館です。どうぞよろしくをお願いいたします」の声あり）

健康推進課長、佐藤浩美。（「よろしくをお願いいたします」の声あり）

福祉課長、八矢英二。（「八矢です。よろしくをお願いいたします」の声あり）

子ども家庭課長、水戸浩幸。（「よろしく申し上げます」の声あり）

都市建設課長、水戸英義。（「よろしく申し上げます」の声あり）

上下水道課長、曲竹浩三。（「よろしくをお願いいたします」の声あり）

以上、18名の課長体制で臨みます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○議長（高橋たい子君） 日程第3、町政報告を行います。

町政報告については、町長からの通告がありますので、町長の登壇を許します。町長。

〔町長 登壇〕

○町長（滝口 茂君） 町政報告は2点でございます。

まず、令和元年台風19号に伴う災害廃棄物処理について申し上げます。

令和元年台風19号により発生した大量の災害廃棄物は、旧不二トッコン跡地を仮置場として集約し、船岡自衛隊のご協力の下、搬出作業を行ってまいりました。しかし、仙南各市町から持ち込まれる災害廃棄物の量が想定を上回り、処分先である仙南クリーンセンターでの処理が追いつかず、搬出作業に時間がかかってまいりました。

こうした状況を踏まえ、別途、広域処理を模索していたところ、登米市のご厚意により、2月1日からは登米市旧クリーンセンターでの災害廃棄物の処理を受け入れていただいております。さらに、実際の災害廃棄物の処理量が当初の推計量より少なかったこともあり、先月に入って一気に搬出作業が加速し、おかげさまで3月25日をもって、無事、旧不二トッコン跡地内に集約していた全ての災害廃棄物の搬出が完了いたしました。

これも周辺住民の皆様の深いご理解があつてこそと、改めて感謝申し上げます。

引き続き、被災した公共施設等の一刻も早い復旧と、被災されました住民の皆様への支援に全力を尽くしてまいりますので、議員各位のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、報告といたします。

次に、令和元年度ふるさと柴田応援寄附金（ふるさと納税）について申し上げます。

令和元年度のふるさと柴田応援寄附金（ふるさと納税）につきましては、3月31日現在の速報値であります。件数が4万1,951件、寄附金額が6億9,372万円となり、平成30年度と比較しますと、件数では約4.7倍、寄附金額では約3.4倍となりました。

こうした好調の要因は、残雪を抱く蔵王連峰と白石川堤一目千本桜の美しい景観を中心に、観光まちづくりを核としたシティプロモーションを積極的に展開してきた結果、「花のまち柴田」への好感度が高まったことによるものと分析しております。さらに今回は、客室数でギネス世界記録に公認・登録された「東横INN」の全客室に備え付けてある客室専用誌「たのやく2020年3月号」に船岡城址公園や白石川堤一目千本桜が掲載されましたし、また、先週の土曜日に配達された日本経済新聞のN I K K E I プラス1創刊20周年特別企画「桜を楽しめる鉄道路線」のランキングにおいて、東北本線大河原駅から船岡駅が、全国の鉄道の中で規模感が他を圧倒しているということから全国第1位となり、紙面では、しばた千桜橋から蔵王連峰を

背景に一目千本桜と列車が撮影された写真が紹介されました。さらに「デジタルカメラマガジン2020年4月号」では、プロカメラマンが選ぶ「鉄道と桜」の部門において全国第2位となるなど、着実に「花のまち柴田」への好感度が伝播しております。

「花のまち柴田」の魅力や認知度が高まり、その結果、ふるさと納税の件数、寄附金額が大きく伸びたことは、まさに観光まちづくりを核としたシティプロモーションが功を奏しているものと強く感じております。

今後も、観光まちづくりのための観光基盤整備やおもてなし、さらにシティプロモーションを強力に推進し、柴田町への応援寄附を集め、住民サービスの向上に役立ててまいりますので、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げ、報告といたします。

以上です。

○議長（高橋たい子君） これより議会運営基準により質疑を許します。

質疑は1人1回です。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋たい子君） 質疑なしと認めます。

日程第4 議案第1号 令和2年度柴田町一般会計補正予算

○議長（高橋たい子君） 日程第4、議案第1号令和2年度柴田町一般会計補正予算を議題といたします。

町長の提案理由の説明を求めます。町長。

〔町長 登壇〕

○町長（滝口 茂君） ただいま議題となりました議案第1号令和2年度柴田町一般会計補正予算についての提案理由を申し上げます。

今回の補正は、児童手当に係るマイナンバー情報連携体制整備のためのシステム改修費を措置するとともに、教育費においては、民間事業者による開発行為に伴う槻木下町一丁目地内の埋蔵文化財発掘調査受託事業費を計上するものです。

また、令和元年度3月会議において減額補正した、船迫公民館及び地域福祉センターの災害復旧事業費について、改めて令和2年度一般会計予算に補正計上するものです。

これらの財源として、国庫支出金、受託事業収入、町債等の補正を行っております。あわせて、地方債の追加を行うものです。

これらにより補正額は9,916万5,000円の増額となり、補正後の予算総額は132億7,916万

5,000円となります。

詳細につきましては担当課長が説明いたしますので、原案のとおり可決くださいますようお願いいたします。

○議長（高橋たい子君） 補足説明を求めます。財政課長。

○財政課長（森 浩君） それでは、詳細説明をさせていただきます。

議案書1ページをお願いいたします。

議案第1号令和2年度柴田町一般会計補正予算です。

第1条ですが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,916万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ132億7,916万5,000円とするものです。

今回の補正につきましては、町長が提案理由で申し上げましたとおり、令和元年の台風19号災害に係る船迫公民館災害復旧工事、地域福祉センター空調機器設備災害復旧工事（債務負担）など、年度当初から執行する必要がある経費を補正計上するものです。

4ページをお開きください。

第2表地方債補正です。追加1件となります。災害復旧費として、台風19号による社会教育施設災害復旧事業と社会福祉施設災害復旧事業の合計9,430万円を追加いたします。

歳入歳出について説明をさせていただきます。

6ページをお開きください。

歳入になります。

16款2項2目4節子ども・子育て支援事業費補助金56万円の増は、児童手当制度におけるマイナンバー情報連携のためのシステム改修費用の3分の2が補助されるものです。

20款1項2目基金繰入金39万6,000円の増ですが、財政調整基金から補正財源として繰入れするものです。この繰入れにより財政調整基金の残高は4億7,391万4,243円となります。

22款5項1目1節社会教育費受託事業収入390万9,000円の増は、民間事業者による開発行為に伴い、槻木下町一丁目地内の埋蔵文化財発掘調査の受託事業収入として補正計上するものです。

23款1項7目災害復旧事業債9,430万円の増は、社会教育施設災害復旧事業船迫公民館災害復旧工事に1,920万円、社会福祉施設災害復旧事業地域福祉センター空調機器設備災害復旧工事（債務負担）に7,510万円を補正計上するものです。

7ページになります。

歳出です。

2款1項1目11節役務費6万6,000円の増は、行政区長に係る私人契約業務上必要となる傷害保険料を増額補正計上するものです。

3款2項2目12節委託料84万円の増、児童手当制度におけるマイナンバー情報連携のためのシステム改修委託料を補正計上いたします。

10款5項3目1節報酬から14節工事請負費までの390万9,000円の増は、民間事業者による開発行為に伴い、槻木下町一丁目地内の埋蔵文化財発掘調査に要する費用を補正計上するものです。

11款3項1目14節工事請負費1,925万円の増は、3月会議において減額補正をした船迫公民館の災害復旧工事について、早期再開に向け改めて補正計上するものです。

次に、4項1目14節工事請負費7,510万円の増は、同じく3月会議において減額補正し債務負担行為として補正計上した地域福祉センター空調機器設備災害復旧工事（債務負担）を改めて補正計上するものです。

9ページ以降の給与費明細書、地方債の現在高の見込みに関する調書については、今回会計年度任用職員に係る報酬、町債の増額補正がありましたので、補正前・補正後の比較となります。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○議長（高橋たい子君） これより質疑に入ります。

質疑は、地方債補正を含め、歳入歳出一括といたします。質疑に当たっては、ページ数を示して行ってください。質疑ありませんか。7番秋本好則君。

○7番（秋本好則君） 秋本です。

6ページの22款の諸収入のところですが、390万円の埋蔵文化財発掘調査受託収入とあるんですが、これは文化庁が絡んでいる内容なのか、ちょっとその辺を確認したいのと、7ページ、同じところの10款教育費の歳出ですけれども、埋蔵文化財発掘調査受託事業、この埋蔵文化財について、どういうことでどういう内容なのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

以上です。

○議長（高橋たい子君） 答弁を求めます。生涯学習課長。

○生涯学習課長（池田清勝君） まず、諸収入のほうで文化庁が絡んでいるものなのかどうかというご質問でございますが、こちらは文化庁が絡んでいるというものではございません。

続きまして、こちらの発掘調査の内容でございますけれども、概要で説明をさせていただいておりますとおり、槻木下町一丁目地内の入間野平城館跡というのがございまして、そちらに

集合住宅の新築工事がなされるものでございます。それに伴って、文化財の本調査をするという予定でございます。

以上でございます。

○議長（高橋たい子君） 再質疑ありますか。どうぞ。

○7番（秋本好則君） 収入のほうの390万円についてお聞きしたいんですけれども、そういった埋蔵文化財関係で、その町村に文化財を発掘する責任者がいるということであれば、文化庁からも申請すればお金が出るはずなんですけれども、そういう申請はされたんでしょうか。

○議長（高橋たい子君） 答弁を求めます。生涯学習課長。

○生涯学習課長（池田清勝君） 文化庁に申請をしているかということでございますけれども、費用の負担につきましては、経常的な発掘調査の場合ですと国からの補助ということもあり得るんですけれども、一般的に民間の開発に伴う調査につきましては、現在のところ原因者負担ということで取扱いをさせていただいているところです。

○議長（高橋たい子君） ほかに質疑ありませんか。16番白内恵美子さん。

○16番（白内恵美子君） 白内です。

8ページの、11款災害復旧費3項教育施設災害復旧費の船迫公民館災害復旧工事を、もう少し詳しく知りたいですね。いつ頃から工事が始まって、いつ完了し、いつから利用できるのか。

それから、この中には図書費は入っていないんですよね。図書費については後で考える、検討するという答弁だったように思うんですけれども、今後どういうふうにしていくのか伺います。

それからその下の、同じく災害復旧費の厚生労働施設災害復旧費の地域福祉センター空調機器設備災害復旧工事（債務負担）ですけれども、こちらもいつ頃完了予定なんでしょうか。夏にはしっかりと間に合うんでしょうか。

以上です。

○議長（高橋たい子君） 答弁を求めます。1点目、生涯学習課長。

○生涯学習課長（池田清勝君） まず、船迫公民館の災害復旧工事でございますけれども、工期につきましては令和2年4月末から9月末までを予定してございます。復旧が終わりましたならば、10月の頭をめどに利用の開始ということで予定してございます。

続きまして、図書の整備の関係でございますけれども、現在全て災害によって図書のほうはこちらの公民館ではなくなっているということでございますけれども、現在図書館にございます図書等も利用しながら、予算を計上しながら、通常の図書の蔵書数にしていきたいという考

えでございます。

以上です。

○議長（高橋たい子君） 2点目、福祉課長。

○福祉課長（八矢英二君） 白内議員の質問にお答えしたいところですが、今のところ債務負担行為の変更をしているところでありまして、前回の契約自体は令和2年3月31日までを工期としていて繰越しする予定でしたが、それは債務負担行為として令和2年度中の工事というふうに今計画しております。今、変更契約のさなかですので、工期についてはもうちょっと打合せ中になるかと思えます。あと、着工に関しましては業者と話合いが進んでおりますので、工事自体は早期に着工したいと思っております。

○議長（高橋たい子君） 再質疑ありますか。どうぞ。

○16番（白内恵美子君） 船迫公民館の災害復旧工事なんですが、あくまでもこれは工事費なので、図書費はもちろん含まれていないですよ。まず、その確認をもう一度したいと思えます。それで、今すぐじゃなくてもいいんですけども、10月までの間にしっかりと、10月にオープンするときには図書もそろっていて、地域住民の方が充実した図書室を楽しむことができるように、ぜひ新書購入もしっかりと検討していただきたいと思えます。

この議会が終われば、10月1日利用開始予定とかっていうのはもう住民の方にはお知らせするのでしょうか。どういう形になるんですか。

○議長（高橋たい子君） 答弁を求めます。生涯学習課長。

○生涯学習課長（池田清勝君） まず、図書の整備の関係でございますけれども、こちらの補正予算にはもちろん工事費ということでの計上でございますので、含まれておりません。

それで、令和2年度は図書館のほうから1,000冊ほどは調達をして蔵書するということで予定をしております。新年度の新図書の購入としては500冊ほどを、今のところ令和2年度は予定しているということでございます。

それから、住民へのお知らせということでございますけれども、まず工事が始まってから予定が確定した時点でお知らせをしていきたいと考えてございます。

○議長（高橋たい子君） 再々質疑ありますか。（「ないです」の声あり）

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋たい子君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋たい子君） 討論なしと認めます。

これより議案第1号令和2年度柴田町一般会計補正予算の採決を行います。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（高橋たい子君） 起立総員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第5 議員派遣の件について

○議長（高橋たい子君） 日程第5、議員派遣の件についてお諮りいたします。

この件に関し、地方自治法第100条第13項及び柴田町議会会議規則第126条の規定により、別紙配付のとおり、令和2年度中に開催される各種会議、講座、研修会、姉妹都市交流等の議員派遣について承認したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋たい子君） 異議なしと認めます。よって、令和2年度中に開催される各種会議、講座、研修会、姉妹都市交流等に議員を派遣することに決しました。

なお、開催要領が確定次第、議長において派遣要請いたしますので、ご了承願います。

4月会議に付された事件は全て終了しました。

これで本日の会議を閉じます。

これをもって令和2年度柴田町議会4月会議を閉じます。

ご苦労さまでした。

午前9時56分 休 会

上記会議の経過は、事務局長大川原真一が記載したものであるが、その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

令和2年4月1日

議 長 高 橋 たい子

署名議員 12番 森 淑 子

署名議員 13番 広 沢 真